



2学年だより

第17号(通算第30号)

令和6年2月14日(水)

令和5年度 探究活動成果発表会

高校入学以降の約2年間、総合的な探究の時間において、「自分の興味や関心および進路目標に基づき探究する課題を設定してさまざまな解決方法を試し、その結果を表現することができる。」という目標のもと、生徒一人ひとりが自分なりの“問い”を打ち立て探究に取り組んできました。そして、今年度2回にわたり講座内で発表会を実施しました。

このたび、講座内発表を経て、各講座の代表となった生徒による「探究活動成果発表会」を下記のとおり開催することになりました。

【日時】 令和6年2月27日(火) 13:15~16:00

【場所】 喜多方高校 会議室

【発表者】 本校2年生 12名

【参加者】 本校1~2年生全員、2年保護者(観覧申込者)、地域ゲスト

※保護者の方には、2月9日に案内文書を配付しました。観覧申込方法および当日のタイムテーブルについては、そちらの文書でご確認ください。

〈発表者・テーマ等〉

発表順	分野	担当教員	生徒氏名 (クラス)	テーマ	概要
1	教育心理	奥真理子	原 未来音 (2の4)	子どもと心の距離を縮めるために	将来、幼稚園教諭になりたいくて、子どもたちへの接し方を知りたかった。保育実習で見聞きしたことから、実際に接し方を考察、工夫、改善するために子どもと交流できる「おはなし会」を企画した。メンバー6人と協力して「アイデミきたかた」と交渉・準備し、試行錯誤を重ねて実践し、具体的な気づきを得た。
2	社会	斎藤秀治	唐橋 承太郎 (2の2)	喜多方市の人口を増やすには	喜多方市の人口を増やすためにはどのような方策が考えられるか。現在の喜多方市の政策を比較し、これから求められる方策を考える。
3	スポーツ	江本恵	佐々木 結愛 (2の2) 佐藤 里緒菜 (2の5)	体を動かす楽しさを子供たちに伝えるために	近年、子どもの運動時間が減少していることに加え、遊びの内容も室内での遊び、ゲームに変わってきている。その為、体を動かし、遊ぶ楽しさを知ってほしい。探究活動としては喜多方市内のこども園(4園)へのインタビューによる現状把握と子育て支援のシンボル施設である「アイデミきたかた」内にある「めぐぷらざ」でのプレイリーダー体験をまとめた。
4	工学	小柴知一	真壁 大空斗 (2の1)	核融合発電について	火力発電、原子力発電の方法とメリット、デメリットについて説明し、核融合発電の展望等について発表する。
5	社会	佐藤浩昭 高松明日香	小林 陽葉莉 (2の2)	ペットの殺処分を減らすために	ペットの殺処分数は減少傾向にあるが、年間一万頭以上の犬猫が処分されている。ペットが捨てられる理由としてお金に着目し考察した。一匹のペットを一生育てるのにかかる費用は犬で約386万円、猫で264万円だが、ペットを飼っていない人にアンケートをとったところ予想額はかなり低く、このギャップが課題だと考えた。
6	医療・福祉	風間典子	小林 真子 (2の1)	吃音者の社会参画に向けて	吃音症の人が、生き活きと社会参画するために必要なことは何か? 「言語聴覚士」・「行政」・「吃音者自身」、それぞれの立場においてできることを考える。同時に言語聴覚士を目指す「私」としてできることを提案したい。

7	芸術	寶保智加	阿部 樹莉亜 (2の3)	絵画について	画家という職業に興味があり、有名画家(クロード・モネ)について調べた。画家になる一つの道筋として展覧会や絵画コンクールへの出品があり実際に作品を制作しコンクールへ出品したレポートをまとめ発表する。
8	社会	中村和人	佐藤 奈奈 (2の3)	地域の民話を後生に伝えるために	地域の民話はその地域の特徴を活用したユーモアの溢れるものが多いが、最近では知っている人が減少している。そこで、子どもや大人にも手に取りやすい絵本を作ること、民話を知ってもらい残していきたい。
9	環境	加藤憲一	木村 凌河 (2の1)	人口減少が止まらない国と人口減少が顕著に表れる国の違いとは？	日本の人口減少の理由を考察した。また、他国の状況(インドネシア、ノルウェー、フランス、イタリア)とも比較し考察した。
10	調理	永井富美子	鈴木 和奏 (2の1) 高橋 ひまり (2の4)	高齢者 <small>コッコツ</small> 骨骨栄養 摂取で生き生きと	私たちの関心事は「食と健康」。「高齢者になっても食べて健康に過ごして欲しい。」という思いから、このテーマについて探究した。高齢者の健康課題として多いのは骨粗鬆症。骨粗鬆症による症状や生活の影響は高齢者の自立を奪いかねない。そこで、骨粗鬆症を予防するためどのような食品を摂れば良いのか祖父母に協力してもらい実践活動を行った。

3月の進路行事

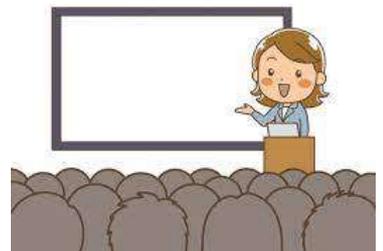
～進路希望別講話～

2年生就職希望者対象「就職進路講話」

- <日 時> 令和6年3月18日(月) 15:10～16:00
 <場 所> 本校 大講義室
 <講 師> 喜多方高校進路アドバイザー 橋本 恵 さん
 喜多方高校進路指導部 就職指導担当 阿部 文子 先生
 <参加生徒> 就職ガイダンス(2月26日(月))に参加した生徒全員
 <主な内容>
 - ・「働く」「社会に出る」ということ
 - ・社会人に求められる力
 - ・就職するために取り組むべきこと
 - ・高卒求人動向

2年生大学進学者対象「進路指導部長講話」

- <日 時> 令和6年3月12日(火) 15:10～16:00
 <場 所> 本校 会議室
 <講 師> 喜多方高校進路指導部長 猪俣 徹 先生
 <参加生徒> 大学進学希望者
 <主な内容>
 - ・大学進学にむけた心構え
 - ・学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜、それぞれの日程と準備計画
 - ・学校推薦型選抜、総合型選抜にふさわしい生徒とは？



年度末の過ごし方 『引き出しを増やす』ことを意識しよう!

3月になると登校日は約1週間しかありません。それ以外は、それぞれが自由に過ごせる日となります。こういう時こそ時間を無駄にすることなく、高校生としての知識や教養を身につけるための取り組みをしてほしいものです。そのためには、まず自分の中に「引き出し」を増やすことを意識してみましょ。う。どれだけ引き出しをもち材料をストックしてきたかということが、今後生活する中で力の差となり表れます。引き出しの数を増やし材料を多く蓄えている生徒は、文章を的確に読み取ることができます。引き出しを作り材料を集める作業には時間がかかります。この作業は短期間ではかなり難しいというのが現実です。そういったことを自分事としてとらえ、何をすべきなのかを考えながら有意義な生活をしてください。